

北保証サービス

第3四半期金融取扱実績 転貸融資が半減

北保証サービスは、2015年度第3四半期（4～9月）の金融事業取扱実績をまとめ

た。元請企業が利用する地域の建設業経営強化融資制度（転貸融資）は、前年同期比47・4%減の6億4332万円。国土交通省の助成支援が終了した影響で、今期は過去最低となった。

転貸融資制度では、元請企業が北保証サービスなど一定の民間事業者などに工事請負代金債権を譲渡し、譲渡した

工事の出来高に応じて金融機関から転貸融資を受ける。15年度第3四半期の取り扱い件数は前年同期比27件減の40件だった。

発注者別の実績は、国が45

・1%減の1億6296万円となり、市町村が43・0%減の3億9143万円、都道府県が61・7%減の8893万円と、すべてで大幅に減少した。

月別では、12月が7件、1億8006万円と最多だが、64・9%減と低調な実績にとどまった。

一方、下請企業が元請企業に対する債権を保証する下請債権保全支援事業（保証フアクタリング）は6億4678万円で、前年同期に比べ55・9%減少した。件数は前年同期比113件減の117件。内訳は個別保

証の売掛金保証が23件、2億2376万円、手形保証が73件、2億5327万円、枠保証が21件、1億6973万円となっている。同社では、金利助成等が終了したことを受け、今後は「取り扱いが集中する2～3月に期待しているが、転貸融資の活用も前年度を下回る可能性がある」と見通している。